



埼玉医科大学

同窓会会報

第39号

平成19年10月

熊手雲

延

巻 頭 言

副会長 **まるき ぎよゆき**
丸木 清之



記録的猛暑となった今夏も終わり、いよいよ秋となりました。先輩そして後輩の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今年は同窓会設立時からご指導いただいていた相木先生が会長を勇退され渡辺雄幸先生が会長に就任されるという同窓会にとっても大きな変化のある年となりました。これからも相木先生には大所高所から同窓生を見守りご指導賜りたく存じます。

また、今年度に大学にも大きな変化がございました。まず4月に国際医療センターが開設されました。大学設立を第一の創業期とすれば、総合医療センター開設は第2の創業期、そして今回は第3の創業期とも言え、言うまでもなく大学にとり歴史的に大きな事業となりました。開設から半年間たちましたが全体的には順調に経過をしております。大学病院の心臓病センター、がん診療に関わっていた診療科の一部そして救急部が移転すること、4月開設時には多くの患者さんを大学病院から搬送するところから始まりました。無事に100人近くの患者さんを搬送いたしました。国際、大学病院ともにコメディカルはもちろん研修医から診療科長までスタッフ総出の作業でありました。これは、大変なことでスタッフの皆さんにただただ感謝しておりますが、これはある意味国際医療センターの団結力というか一体感を増す出来事であったのではないかと考えております。また、救急隊にご協力いただいたの搬送であり、国際医療センターの院長補佐をされている本学出身の根本准教授の搬送における声を囁かしての活躍ぶりは同窓生としても誇らしく思っておりました。開設以降は徐々に入院、外来ともに安定した仕事が始まり、現在430床規模の病院となっております。大学の病院

としては割と早い試みでもある横断的な診療体制は医療ニーズと合致したためか早くも浸透し多くの患者さんに頼られる病院となりつつあります。本院である大学病院は、一部診療科が移転したこともあり、リニューアルに向けて動き始めています。南館を内科系でまとめ、本館を外科系でまとめることとなり、9月の下旬から改修がスタートいたします。学生の教育が教室での講義から徐々にベッドサイドでの学習が多くなることから病棟内での学習環境もより整っていく予定です。大学病院は今までの医療面での機能に加え教育病院としても更に充実をしていくこととなります。また中でも永田教授が科長をされているアレルギーセンターは新たな大学病院の中核の一つとなると思われます。総合医療センターにも野村教授をはじめ本学卒業生が多く在籍し、救急をはじめとした地域医療と高度医療に大いに貢献をしています。こちらでは、救急センターの杉山教授が中心となりドクターヘリ事業が始まり、多くの卒業生がフライトドクターとして志願されました。県の医療の充実に多くの卒業生が志願されたことに大変感銘を受けております。

また、今では多くの卒業生が3病院で教授に就任し、多くの若い卒業生がスタッフの一員として診療、教育、研究に大いに貢献をしております。卒業生の一員として多くの卒業生の活躍ぶりに私も大変誇り高く思っております。

これから来年度の診療報酬改定に向けた様々な動きも始まります。医療機関そして医師にとり環境の厳しさが年々増しておりますが、同窓の皆様には医療のためにご健勝でご活躍いただくことを祈念して巻頭言に代えさせていただきます。

同窓会創立 24 年 —長い間皆様ありがとう—

初代会長 あいき 相木 しちりょうえもん 七良右工門



昭和 53 年 3 月、我々一期生 72 名がめでたく卒業となり、晴れの卒業式を迎え、無事終了した。その後のパーティーの席で、落合学長から『今回は初めてのことであるので、特に優秀でやる気のある学生だけが卒業できたはずだ。だから国試は 100% 合格するであろう』とお言葉があった。ところが、いざ蓋を開けてみると 10 数名がなぜか不合格となった。不肖、私もその中の一人だった。元気があれば何事もできると勝手に思い込んで遊び惚けていた報いである。今にして思えば親には大変申し訳ないことをしたが、当時は、朝早くから自由で時間がいっぱいあるので、人生の春休みと夏休みを先取りした気分だった。

しばらくして冬眠から目覚め、臨床医の道を真面目に歩んでいたところ、何人かの親友から、そろそろ同窓会なるものがあっても良いのではとの話があった。もはや、その任には非ずと断ったところ、すでに会長、役員、おおよその規約などでき上がっているふうでもあり“君は年長者だから、とりあえず、ちょ

うど良い”とのことであった。それでは、ということで、創立者であられる丸木清美先生のところへ、ご報告に伺った。先生は満面の笑みをうかべられ、「是非、立派な同窓会を作りなさい。同窓会というのは、今後、卒業生の生涯のグループになるので、お互いに助け合いながら、君たちの手で、伝統と実績を積み重ね社会的にも、立派に役立つ同窓会を作り上げてゆくべきだ。あとは諸君に任せる」とおっしゃられた。

昭和 58 年 11 月、同窓会創立総会が開かれた。東京ディズニーランド開園と同じ年のことである。総会当日、一卒業生から、早速質問があった。「同窓会会員になると、何かメリットがあるのか？」ごもつともな質問である。そこで私は「明確な答えはないと思うが、しかし、入学し、先生方、職員の方々、友人たちとの交流の中で勉学等にはげみ、国試に合格し医師となり、本人の目標の出発点に立つことができたのだから、それで立派なメリットではないか。その中で、同じ釜の飯で育った者同士、今度は、後輩達に少しでも



同窓会創立総会

がんばってもらいたいという気持ち、あるいは、大学の充実、発展にそれぞれの立場で、できることの貢献をしても良いのではないか」と答えた。後は個人個人の思いである。無事総会は終了し、めでたく本学同窓会が創立された。

24年間、充実して楽しいことばかりで不愉快なことは一度もなかった。ただ、気がかりなことは2、3ある。一つは、名簿作成にあたり、ほんの3～4人ではあるが、卒業生から“名簿に名前を記載しないでほしい”との申し入れがあったことである。はじめは、その意味が理解できないでいたが、よく話を聞いてみると、いわば世間体と本人のコンプレックスらしい。確かに当時は新設医大に対し色々と姦しい時代ではあったが、私にとっては、意外な申し出であった。そこで単純な私は、載せないどころか、こちらから除名してあげるから、埼玉医大卒で獲得させていたはずの医師免許証も返上しなさいと申しわたしたが、それっきりでである。思うに、十分恩恵を被っておきながら、気に入らないことは頬被りをするという事は、人間として恥すべきことであり、今どこで何をしているのか知らないが、それでいて、よく医師として、人の道、人の健康に携われるものだと、開いた口がふさがらない。卒業式に丸木先生が言われた“医師である前に常識豊かな社会人となれ。そして医師たるものは心身共に健康でなければ、人様の健康に携われるはずがない”との言葉の意味をよくかみしめてほし

い。

さて、何といってもも意義な思い出は、平成4年8月26日から9月26日の間、副会長・岨康二君、常任委員・鈴木將夫君をはじめ大学関係者を含む7名で、チベット留学生で当大学3期生の西藏ツワン君の要請により、チベット難民キャンプの中枢として機能する北印度ダラムサラ難民キャンプへの訪問である。これは、同窓会の活動の一環として、故落合京一郎先生を偲んで作られた、第1回落合記念賞の具体的行動で在印度、チベット難民の医療事情調査及び今後の援助、協力についての視察である。期間中、ダライラマ14世猊下の官邸を訪問し、猊下御自らのお出迎えを戴き、大変感激して帰国した。その時、大学及び医薬品等各関係方面から戴いたご支援の品を寄付することができ、大変喜ばれた。その医学院の院長より“あえて宗教を信じることをお勧めしませんが、すなわち人を思いやる心を持ち決して人に迷惑を掛けることなく、お互いを理解し、助け合うことが当学院の教育方針である”というお話を伺い、大変感銘を受けたということであった。

色々、思い出は尽きないが、さしたる能力があるとも思われない私に対し大学の先生方や職員の方々、及び後輩の皆様、そしていつも陰になり日なたになり応援してくれた友人の皆様には心から感謝している。たかが同窓会、されど同窓会、ではあるが、我が母校であるがゆえに、男の本懐であった。今後、ますますの充実、発展を心から期待している。



ダライラマ14世猊下公邸にて

就任のご挨拶

会長 **わたなべ ゆうこう**
渡辺 雄幸



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、同窓会会長に就任しました、3期生の渡辺雄幸です。二代目ということになりますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

昭和58年11月6日に同窓会が創立されて以来、永きにわたり、同窓会の顔として、今日の同窓会を築きあげられました、相木前会長が勇退されました。在任されました期間、並々ならぬご苦勞の連続であったと思います。ここにその勞をねぎらいますとともに、感謝と御礼を申し上げます。

同窓会の目的は、会則にあるとおり、会員相互の親睦を図り、会員の福利厚生、學術の向上、及び母校の充実、発展に寄与することです。私は、現在の同窓会の活動状況が、この目的ののっとり、着実に実績を上げていると思っています。従いまして、今後、基本的には相木前会長、前執行部の方針を継承していきたいと考えています。

具体的には、会報・会員名簿の発行、国試対策における活動、落合記念賞研究助成金、海外留学の援助、産業医研修会、支部会への援助、開業や功勞者への記念品贈呈、学生会員の活動に対する援助、大学側との定期的な会合、私立医科大学同窓会連絡会への参加およびホームページの開設などを行っています。

す。

今後の方針としては、同窓生のための同窓会という視点に立って、同窓会を更に活性化していきたいと思います。そのためには、総会に一人でも多く方に出席していただき、会員の皆様からご意見、ご要望をいただきながら、積極的に取り組みたいと考えております。

また、常任委員会をしっかりと機能させ、各学年を代表する委員の方々から、会員の皆様に呼びかけていきたいと考えています。更に、学生会員に対しても、もっと積極的にアピールし、学生のうちから、同窓会をもっと身近な存在と感じてもらうことも、必要だろうと思っています。

またこれからは、インターネットにより、会員相互の意見交換、情報提供などが活発に行われるようになりますので、総会・委員会などの会議、会報発行など、同窓会の活動状況が、将来的には全く変わってしまう可能性が高いと思われます。現段階においては、ホームページを充実させてインターネット時代に対応しつつ、顔の見える親睦と連携を強くしていきたいと思っています。

たとえ、どんな時代になってもその目的は変わりません。あくまで親睦、あくまでボランティア、そして地道に、責務を全うしたいと思っています。今後とも会員の皆様のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

平成20年度医学部入学試験日程

募集人員 100名(推薦約10名)

推薦入試

出願期間	11月1日(木)～11月14日(水)	試験科目
試験日	11月18日(日)	適性検査Ⅰ(英語系分野45分・理数系分野70分)
会場	埼玉医科大学(短期大学校舎)	適性検査Ⅱ(小論文60分)
合格発表	11月21日(水) 午後1時	面接

一般入試

	前期	後期
募集人員	55名	35名
出願期間	12月17日(月)～1月25日(金)	12月17日(月)～2月15日(金)
試験日	一次試験 2月3日(日) 二次試験 2月10日(日)	一次試験 2月24日(日) 二次試験 3月2日(日)
会場	一次試験 TOCビル(東京 五反田) 二次試験 埼玉医科大学(短期大学校舎)	
合格発表	一次試験 2月6日(水) 午後1時 二次試験 2月13日(水) 午後1時	一次試験 2月27日(水) 午後1時 二次試験 3月5日(水) 午後1時
試験科目	一次試験 数 学 60分 (数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 数学A・B。ただし, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とする) 理 科 100分 (「物理」, 「化学」, 「生物」の中から2科目を選択) * 下記参照 外国語 80分 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング) 小論文 60分 (基礎学力試験) 二次試験 面接	

* 物理:「物理Ⅰ・Ⅱ」ただし, 物理Ⅱの選択分野「物質と原子」は「原子, 分子の運動」の範囲, 「原子と原子核」は「原子の構造」の範囲に限り, 両分野とも出題範囲とする。
 化学:「化学Ⅰ・Ⅱ」ただし, 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」は両分野とも出題範囲とする。
 生物:「生物Ⅰ・Ⅱ」ただし, 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」は両分野とも出題範囲とする。



埼玉医科大学・入間地区医師会産業医研修会事務局からのお知らせ
認定産業医未申請の皆様へ

認定産業医申請はお早めに!! できれば平成 20 年 3 月までに!!

日本医師会における認定産業医の取得の期限が平成 17 年より 5 年間となりました。

当産業医研修会も平成 14 年からはじまり本年で 5 年目を迎えております。

全単位修得後で認定医申請のお済みでない先生は早めの手続きをお願いいたします。

手続きに関しましては、お住まいの都道府県医師会またはお勤め先の都道府県医師会へお問い合わせください。

埼玉医科大学・入間地区医師会産業医研修会事務局／足立・稲葉

●●●●●●●●●● 「埼玉医科大学医師会」設立! ●●●●●●●●●●

去る 7 月 21 日に「埼玉医科大学医師会設立総会」が開催され、「埼玉医科大学医師会」が設立されました。

従来、大学病院は入間地区医師会、総合医療センターとかわごえクリニックは川越市医師会に加入し、医師会活動に参画しておりましたが、国際医療センターの開設を機に埼玉医科大学医師会を設立し、埼玉医科大学病院群における医師会活動の統一化・拡充化を図ることが設立の趣旨であります。

また、全国 80 の医科大学・医学部の 75% が学内に医師会を設置しており、昨年「全国大学医師会連絡協議会」が発足したこともあり、本学の医師会設立は時宜を得たものであると思われます。

なお、埼玉医科大学医師会は、平成 20 年 4 月 1 日に郡市医師会と同等の位置づけとして埼玉県医師会の組織に加わる予定となっております。

設立時は、臨床系教授を中心に会員の募集を行い、ほぼ全員の 100 名を超える先生方が入会されました。今後は准教授他幅広く会員の募集を行う予定であります。

総会では、定款の承認、役員を選任が行われ、平成 19 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

役員は次のとおりであります。

名誉会長	丸木 清浩 (理事長)
顧問	山内 俊雄 (学長)
会長	佐々木 望 (大学病院小児科教授)
副会長	横手 祐二 (大学病院病院長)
〃	吉本 信雄 (総合医療センター病院長)
〃	松谷 雅生 (国際医療センター病院長)
理事	丸木 清之 (専務理事)
〃	川添 太郎 (かわごえクリニック院長)
〃	金澤 實 (大学病院副院長)
〃	里見 昭 (大学病院副院長)
〃	御手洗哲也 (総合医療センター副院長)
〃	小山 勇 (国際医療センター副院長)
〃	西村 重敬 (国際医療センター副院長)
〃	加藤木利行 (国際医療センター副院長)
監事	片山 茂裕 (大学病院副院長)
〃	前田 平生 (総合医療センター副院長)
任期	平成 19 年 8 月 1 日

～平成 20 年 3 月 31 日
(事務局 総合企画部)

「指定旅館制度」発足！

平成 19 年 9 月 1 日より「指定旅館制度」が発足いたしましたので、ご理解の上幅広く情宣い
 いただきご利用ください。

1. 利用対象者

本学の患者さん、受験生、学生、同窓生、教職員及びそのご家族

2. 指定旅館

別表（下表）のとおり

3. 申込方法

- ① ご利用の際は、直接旅館等へお申し込みください。
 その際、「埼玉医科大学関係者」であることを申し添えてください。
- ② 利用料金は、基本的に 5～10%割引となっておりますが、旅館等によって異なりますので、
 旅館等にお問い合わせください。

（事務局 総合企画部）

埼玉医科大学指定旅館契約先一覧

（平成 19 年 9 月 1 日現在）

施 設 名	〒	住 所	TEL	利用料金	備 考	割引 制度
鎌北湖レイクビューホテル	350-0454	毛呂山町権現堂 86-1	049-294-0219	@7,350～税込	1泊2食付3名以上	有
お ぐ せ 館	350-0416	越生町越生 793	049-292-3035	@5,000～税込	1人様・食事なし	有
黒 山 鉱 泉 館	350-0424	越生町黒山 1436	049-292-2226	@11,700～税込	1泊2食付2名以上	有
東 上 閣	350-0424	越生町黒山 1188	049-292-2356	@10,500～税込	1泊2食付2名以上	有
飯能プリンスホテル	350-0038	飯能市仲町 11-21	042-975-1111	@13,500～税込	シングル・食事なし	有
坂戸グランドホテル	350-0215	坂戸市関間 2-6-32	049-281-4122	@7,000～税込	シングル・食事なし	有
坂 戸 ホ テ ル	350-0234	坂戸市緑町 5-4	049-284-4111	@6,930～税込	シングル・食事なし	有
ビジネスホテルサンロード	350-0225	坂戸市日の出町 2-10	049-289-3600	@6,500～税込	シングル・食事なし	有
シ テ ィ ・ イ ン 鶴 ケ 島	350-2203	鶴ヶ島市上広谷 13-3	049-285-1711	@6,300～税込	シングル・食事なし	有
鶴ヶ島ビジネスホテル	350-2203	鶴ヶ島市上広谷 11-7	049-286-3226	@4,725～税込	シングル・食事なし	無
川 越 東 武 ホ テ ル	350-1122	川越市脇田町 29-1	049-225-0111	@8,316～税込	シングル・食事なし	有
川越ニューシティホテル	350-1122	川越市脇田町 17-4	049-225-7711	@6,500～税別	シングル・食事なし	有
川越プリンスホテル	350-8501	川越市新富町 1-22	049-227-1111	@13,860～税込	シングル・食事なし	有
佐 久 間 旅 館	350-0056	川越市松江町 2-5-4	049-224-0012	@13,650～税込	1泊2食付2名以上	有